



港区との交流50周年 記念植樹式



▼問い合わせ先
舟形町まちづくり課交流促進係
☎(32) 0844

10月20日、富長地区の「桜づつみ」において、舟形町と東京都港区の交流50周年を記念した桜の植樹式が行われました。

植樹式には、町長はじめ町三役、町議会議長、もがみ南部商工会舟形支部長、富長・堀内地区の各連合町内会長、町都市交流実行委員会会長をはじめ、港区麻布地区総合支所長、東麻布商店会前会長、東麻布街づくり協議会長などの関係者14名が参加。これまでの交流にご尽力いただいた方々への感謝と、さらなる交流の発展を目指して記念植樹を行いました。

交流は、当町出身の故佐藤克己氏（最上電気株式会社初代会長）の「田舎を持たない東京の子どもたちに自然豊かな舟形の良さを体験させてあげたい」という思いから、昭和48年に旧港区立飯倉小学校の児童が来町し、始まりました。現在町では、「港区麻布地区サマースクールin舟形」の受入れや、「東麻布商店会かかしまつり」「全国交流物産展in新橋」への参加、舟形中学校が修学旅行中に実施する町特産品物販のPR活動などの交流が行われています。

なお、この交流の歴史はQRコードから動画でご覧いただけます。

繩文の女神と若鮎の里 Funagata

[広報ふながた] Public Relations Funagata

OCT 2023
VOL.776 **10**

contents

- P3 港区との交流50周年 記念植樹式
- P4 令和4年度舟形町の決算 ふながたさんちの家計簿
- P8 長沢集学校へ行こう！
- P10 特集 発掘！ふながたのお宝
- P12 ふなトピ
- P14 まちかど掲示板
- P15 地域おこし協力隊コラム「舟形見聞録」
- P16 新刊書の紹介、舟形文芸ひろば
- P17 二十四節気 舟形の暮らし、舟形まんぶく物語、カメラアングル
- P18 舟形町立舟形小学校創立10周年記念



表紙の紹介

10月8日、舟形町B&G海洋センターなどの町内各地で、第31回舟形町スポーツフェスティバルが開催され、全7競技に208名が参加しました。みなさんの熱いプレーに笑顔や歓声があふれ、おおいに盛り上がりました。結果は15ページをご覧ください。



一歩一歩

11日から島根県雲南市と益田市を訪問し、「まちづくり」について研修してまいりました。雲南市は平成16年に6町が合併し誕生した市で、人口は合併当時の約46,000人から現在は約36,000人と減少し、高齢化も進んでいます。このため、市では地域課題の解決や新たな価値の創造に向けた取組みを推進するため、「雲南市チャレンジ推進条例」を制定し、子どもから大人まで積極的に取組みを行なっています。このことにより、令和4年「田舎暮らしの本」の住みたい田舎ランキングで、「若者世代・単身者」部門、「子育て世代」の2部門で全国1位となりました。人口の社会増に向けて、移住者を奪い合うのではなく、人を育てて活躍する場所をつく

り、移住者と定住者を増やす方針で「子ども×若者×大人×企業チャレンジの連鎖」による持続可能なまちづくりを目指すとのことでした。特に「大人チャレンジ」では、旧小学校区単位の「地域自主組織」が市内全域に30組織あり、「地域でできることは地域で」を目標に活動し、予算も市から1千万円交付され、それぞれの課題に地域の方々が知恵を出し、解決するために人も雇っているとのことでした。

本町にも、「地域運営組織」があり、雲南市のような組織に成長できればと思います。雲南市の組織は20年の実績があり、あせらず町の「地域運営組織」の成長を見守りたいと思います。

森 富広

